
合宿です！！全員集合！！

みさメロン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

合宿です！！全員集合！！

【著者名】

ZZマーク

N4907N

【作者名】

みやめロン

【あらすじ】

スマブラメンバーが合宿を行います！

時には楽しみ、時には悲しみ、時にはみんなと戦い！！！

なんと、SEGAからも合宿参加するキャラが・・・！？

恋の行方は誰のもの・・・？ そして別れのとき・・・。
スマブラの合宿の様子をご覧あれ！！！

合宿の始まりです！（前書き）

初の投稿となります！！

まだまだ未熟なんですが見てくれたら幸いです！！！

それでは始まります！！！！！

合宿の始まりです！

ある日の事・・・
ある人物、二人が話をしていた。

? 「なあ、左。またあれでもしないか?」

? 「おい、右よ、どうしたんだあ?」

右=マスター 左=クレイジー

マスター「だーかーらーあれだつて」

クレイジー「・・・。あああ！あれか？」

マスター「そう、あれ」

クレイジー「UNOかあ？」

マスター「・・・」

クレイジー「あら？違つた？」

マスター「全然違つわあああ――――――」

クレイジー「冗談・・通じねーのかよお

マスター「お前な・・」

クレイジー「わーかつてるつてーあれだよな？」

マスター「・・言つてみろ

クレイジー「トランプだろーーー?」

マスター「ふざけるなあ————！————！」

マヌダ
ルルコロ
ケレイシ

四庫全書

クレイジー「ほんとーにわかってる・・・。合宿だろ・・?」

マスター「ああ・・・」

クレイジーで？俺にどうして？」

マスター「私は招待状送るから左は・・・」

クレイジー「改築すればいいかあ？」

マスター「ああ、よろしく頼む」「作者「あ、あつさつと・・・

•

場所は変わり・・・・・

? 「兄さん、手紙が届いてるよ」

? 「なんだ? 手紙で喜んでるのかあ?」

? 「いやいや、手紙で喜んでるわけじゃ・・・」

? 「まあ、お前の事などどうでもええわ」

? 「ひどこよ・・・・、兄さん・・・(、・・。)」

自称ミスター任天堂のマリオと永遠の一一番手と呼ばれるが影が薄い
ルイージが話をしていた。

ルイージ「作者・・・、影が薄いは余計だか」・・・

マリオ「だまれ、ルイージ! 出してくれるだけでありがたいと思
え! 特にお前は! -!」

ルイージ「作者も兄さんひどいや・・・」

落ち込むルイージ（ - ? - ）を無視し、マリオは封筒からあ
るものを作した。

マリオ「招待状?・・・ルイージお前?・・・」

ルイージ「どうせ僕なんか・・・、僕なんか・・・！」

マリオ「ああ、精神的ダメージが大きい・・・」

うん、あれは普通だ。大丈夫！！

マリオ「・・・いや、あれ普通？・・・ルイージ、お前にも招待状が来てるぞ」

ルイージはマリオから自分の招待状を取つた。

ルイージ「ほんとだ！・・・ってこれ・・・」

マリオ「スマブラ合宿の招待状じゃないか！？」

ルイージ「えええええ！？またあのおんボロの家で・・・？」

マスター「おんボロで悪いな！！」

マリオ「えっと前に行つたのはいつだけ？」

ルイージ「確か・・・７ヶ月前かな？Xメンバーで行つたときだよ」

マリオ「またXメンバーか？まあリストラ組はいらんけど・・・」

リストラ組「リストラ組とかいうなあーーー！」

マリオ「ぶえくしょん！－なんかリストラ組の声が・・・？んなわけないか！」

ルイージ「兄さん、早く準備しないと～！」

合宿の始まりです！（後書き）

いかがでしたか？短くてすみません・・・。

感想お待ちしておりますー。どうぞ遠慮なく言ってくださいー。

これからも見てくださいー。よろしくですーー。みさメロン でした。

合宿へ・・・Let's GOー！？（前書き）

2話目！ 突入！

あんまりおもしろく無いかも・・・。
スマブラメンバー「いらん事をいうなあーーー！」

合宿へ・・・Let's GO!?

ال ISSN

やがて、やがて……終点だ。

×メンバーはもちろん全員・・・。

ん？あ、あれは・・・！！

リストラ組！？！？！？！

リストラ組「作者もリストラ組つていうなあ——！」

リストラ組「うう・・・」

マスターは今回の目的を話す。
そんな説明途中で突然真っ白な光に包まれた。

全員「目がつ・・・・！」

光が・・・

消えた・・・・・。

光が消えた後、一人の少女が立っていた。

? 「痛たたたた・・・。あ、あれ? ここはどこ?」

? 「ここは、終点よ」

スマブラメンバーの一人の女性が答えた。

彼女の名はサムス・アラン。バウンティハンターである。（今は、ゼロスースサムス）

? 「終点・・・?あれ、思い出せない・・・」

サムス「えつ! ?記憶喪失! ?」

? 「・・・いえ、そうではないのですが・・・」

? 「あれ！？ アルルか！？」

? 「えつ・・・？ 爽は・・・、ソニック・・！-？」

ソニック「どうしてこんな感じにいるんだ？」

アルル「えつと・・・」

サムス「ちょっとまって！ なんでソニックが知ってんの？」

ソニック「ああ、スマン。」についてはアルル。オレと同じSEGAなんだ

アルル「あ・・うん・・」

サムス「同じSEGA・・へえ）。あつ、話続けて」

アルル「え・・、はい。ソニックに用があつて家を訪ねたんだけど・・。

『スマブラ合宿があるため外出してるぜ』って書いてあって。スマブラに参戦してるのは
聞いてるんだけど・・。スマブラの世界ってどんなのかと思つてたら突然光に包まれて

気付いたらここに・・・

サムス「なるほどね・・・」

ソーック「で、オレに用事があつたんだろ？なんだ、その用事つて？」

アルル「……。」めん、忘れちゃつたよ（――・、タラタラ）

ソーック「おいつ――」

サムス「一応、記憶喪失ではないのね……」

アルル「えつと……ぼくこれからどうすれば……？」

サムス「マスター元の世界に送つてあげたら？」

マスター？「嫌だ」

サムス「なんで！？」

マスター？「めんどいから。つてか、俺マスターじゃねーし」

全員（アルルを除く）「えつ――？」

マスター？「俺はクレイジーだつ――！」

全員（アルルを除く）「・・・・・・・・」

全員（アルルを除く）「ええええええーーーーー？」

クレイジー「気付くのおせーんだよ」

サムス「えつ？でもなんで？」

クレイジー「マスターの能力は相手を転送、物を作ったり・・、そんな感じ。

で、俺は物を破壊したり・・・、またたくさんあんだけよおー、

あいつみたいな能力はないってわけだ」

全員「（例えが1つしかでてない・・・）」

サムス「じゃあ私たちはこれから合宿なのが、じつやつて行くのよっ。」

クレイジー「ここは終点。だからそんな能力が無くても行けるってわけ」

ソニック「じゃあさ、アルルは元の世界に戻ることが出来る感じかなーの？」

クレイジー「残念ながら、ムリだ。ここは任天堂の世界しか行き出来ない」

アルル「って言つことは・・・」

クレイジー「お前も合宿に来るんだな」

アルル「・・・・・」

アルル「ええええええええええええ！」？」

ソニック「それはそれでいいかもな！滅多に無いぜこんな事！…！」

アルル「・・・」

サムス「確かに、スマブラの世界を知るチャンスよ」

アルル「・・・行つてもいいんですか？」

サムス「いいんじやない？ねえ、みんなはどう？」

と、サムスの意見に反対する者はいなかつた。
(若干いたかもしれないが・・・)

サムス「いいわよね？クレイジー？」

クレイジー「いいんじやないか？」

サムス「なら、決まり！！」

アルル「改めまして、ぼくはアルル・ナジャ。SEGAの『ぷよぷよ』の世界から

きました。よろしくお願いします」

全員「よろしく～」

そうして、合宿に参加する事になつたアルル。

? 「（あの子、かわいいなあ～）」

This is March. (いちはマルスです。
なぜ英語!?)

アリティア王国の王子です。

マルス「（あの子も合宿するんだ・・・チャンスーー）」

? 「何考えてんだ、マルス?」

マルス「わっ、ア、アイク!」

アイク「変な事考えるなよ?お前、女いるじゃん・・・」

マルス「シーダーの事?」

シーダー＝タリス王国の王女、マルスの婚約者。ここでは、シーダーの片思いつていう設定です。

アイク「ああ

マルス「別に僕が好きじゃないし・・・まさか、アイクも狙ってるあの子?」

アイク「はあ?」

マルス「はあ?じゃない!..!」

アイク「女なんか興味ねえよ

マルス「じゃあ、手出さないでみ?」

アイク「・・・・・」

マルス「でもアイク、妹いるのに・・・」

アイク「バカ!!!俺はミストとシスコンじゃない!!」

マルス「そんな事は言つてないけど・・・?ってか、よくシスコンの意味知つてたね!」

アイク「シスコン言つなー!..!」

合宿へ・・・Let's GOー！？（後書き）

「これで2話目も終了！」

感想、くださ~い！！

どじびし指摘くださいーー悪いところがあれば直します。

部屋翻つ（前書き）

更新遅くなりすみません・・・！
の、わりには短いかも・・・。

部活・・・、執行委員のスピーチ原稿書いたりとか・・・
はい、言い訳にしか聞こえませんよね・・・

では、始まります！！

クレイジー「んじゃ、移動すわ〜」

クレイジー「着いたぞ」

全員「！…？」

ルイージ「めちゃくちゃでかい…、それにキレイ…」

クレイジー「今回ね、改築したばかりの宿(?)で住んでもらひ

アルル「あの〜

クレイジー「ん?どうした?」

全員「…・・・・?

アルル「ほく荷物無いんですけど…・・・?」

クレイジー「ああ、それならマスターにいえば大丈夫だ」

アルル「は、はあ・・・」

? 「おお、来たか！」

全員（アルルを除く）「マスター！？」

マスター「よつこひ、ファイターたちよ・・・」

アルル「この人がマスター・・・？」

マスター「・・?君は?」

アルル「は、はい！?」

マスター「なぜこんなとこに?」

アルル「ぼ、ぼくはアルル・ナジヤ。突然、真っ白な光に包まれ、終点という場所にとばさ

れて・・・。帰る方法がわからずみなさんと一緒に合宿参加する事になつたんです」

マスター「なるほど・・・」

アルル「・・・」

マスター「まあ、よからつ。君にも参加してもいい」

アルル「あ、ありがとうございます」

マスター「では、部屋割りはこのようになつてゐるからな
(なぜこんなところに他社の者が?)」

『部屋割り』 このようになつてます

A マリオ、ルイージ、ドンキー、ディディーロング、ヨッシ

I、

キヤブテン・ファルコン

特にない・・(笑)まあ、仲が良さそう(?)組

B クッパ、ワリオ、ガノンドルフ、スネーク

悪っぽい・・(スネーク以外)

C ロボット、カービィ、メタナイト、デデデ、Mr.ゲーム
&ウォッチ

なんか普通の人いねーな!

D フォックス、ファルコ、ウルフ、ソニック
ここ人いねえー!動物やん!!

(狐、鳥、狼、ハリネズミ)(笑)

E ピカチュウ、ルカリオ、プリン、ピチュー、ミュウツー
ここは、ポケモン組

F トゥーンリンク、ポポ(アイスクライマー)、オリマー、
レッド(ポケモントレーナー)、ネス、リュカ
ここは子供組?

G リンク、ピット、マルス、アイク、ロイ

「」は「剣士組かな？」

H ピーチ、ゼルダ、サムス、ナナ（アイスクライマー）、ア
ルル

「」は・・女組ですね

カービィ「メタナイトは剣士組に入んないの? ピットって剣士組
?」

（まあ、メタナイトと一緒にだから変えてほしくないけど…
）

作者「んとね。ウチ、考えたんだ」

カービィ「何を?」

作者「一頭身なんかいらんでしょ? つて!」（笑）

メタナイト「作者…。やつでいいか?」

作者「えつ・・・。ええええええ――! ?」

メタナイト「最後の切りふだ! ギヤラクシアダークネス! !」

作者「だから待て……………」

作者「メタナイトファンの方、申し訳ありませんでした……」

作者は全治一ヶ月の大怪我を負いました……。嘘ですけど……。

全員「当たり前……！」

部屋覗つ（後書き）

どうでしたか・・・ってことじゃないですね・・・（汗）

こんななんでも感想を書いてくれたら嬉しいです！

- ・ 今日、逃走中だった・・・
- ・ いつか合宿内で逃走中やうつかなと思ってみよかつてたのに・・・

相変わらず更新遅くてすみません！

ふよふよの新作のやつこままでしもうて・・・。
ペアでふよふよおもしるーい!

カナダモヒンの会話かおも

「あなたが欲しい！」
ですわ!!

シェゾ「な、何を言つてゐるんだ!?」

二十九

サタアルとシェアルどちらが好きですか？

ウチはショア川です！

ジハヅ「シタドリ」

アルル「まだ、言つてないよお？」

ナラニマニ

アルル「違うつてばあ！」

話が長くなりました。・・・。

それでは、特別編です！どうぞ！！

特別編 プレゼンテーションを渡して マルチ

作者（みせメロン）「では、クリスマスとこいつ事でプレゼントを配りたいと思こますー。」

?「ああ、こじかな？」

みせメロン「ああー…来た来たー…ゆうたんー…」
「うひー…」

ゆうたん「うひー…」

みせメロン「今日は特別編とこいつ事で『スマブラ・ぷよぷよ
7』で逃走中』

を書こいてるゆうたんに来てもうござましたー…」

ゆうたん「ねえ、ヒーリング今回企画せ?」

みせメロン「『クリスマスとこいつ』なのでウチちらがサンタにな
つプレゼントを

あげよう企画』ですー。」

ゆうたん「長いなあ…」

みせメロン「もうひー…」の人に(?)の力を借りますよー。」

?「出番遅ー…」

みせメロン「悪い、悪い…」

ゆうたん「つと言ひ訳で僕とマスターが加わり3人でプレゼントを渡しに行きます!」

「マスターはそのプレゼンターを務める役です。いわゆる
みさメロン 雜用係?」

マスター「はあー？ 雑用係なわけ無い！…むしろ重要だろー？」

みせメロン 「『』ねん・・・、口が滑つた・・・(笑)」

マスター「お前な・・・・・ー!」

ゆうたん「まあまあ」

みさメロン 「マスター、魔法を使えるようになつたんに魔法かけてーー！」

マスター「なんでだ？」

みさメロン「ウチせラシピング魔法、ゆうたんこは・・・、手紙を思ひのままに表せる

魔法を!
」

マスター「人の話を聞け――――――！」

みさメロン 「そもそも、あんたは人ではない——！」

ゆうたん「・・・確かに・・（笑）」

マスター「笑うなーー！」

みさメロン 「まあ、ここから。早くーー！」

マスター「仕方ない・・・」

みさメロン &ゆうたん「ヤッターナーーー！」

現在22:00

みさメロン 「じゃあ、役割はOK?」

- 1、マスターがプレゼントを作る。
- 2、みさメロン がラッピングする。
- 3、ゆうたんがサンタからといつ手紙を書き、置く。

みさメロン 「これでいい？」

ゆうたん&マスター「OK・・・」

みさメロン 「では、これで寝ている人を捜しその家からプレゼントを

渡していくよー。」

マスター「それも、私がつく。「

みさメロン「まず1件目ー。」

———
△△△

ゆつたん「えーと、リュカの家だね」

みさメロン「子供だから寝るの早いね。マスター、ワープー！」

マスター「なぜ私が・・？」

みさメロン「なんか言ったかな―――？」

マスター「いえ・・・」

特別編は12月24日。

本編は8月1日。

なぜ8月って？それは本編の話を考えたのが8月だから！
そん時はまだ登録してなかつたからねー！

みせメロン 「到着！」

やべつても ゆうたん「僕たちの姿を消してゐるから、見られぬことは無こし、し

聞こえないから大丈夫！」

みさメロン 「えーーと手紙・・・欲しいものが書いてある手紙ーー」

「あつたん」「あつたよー。」

みさメロン 「なになに・・・。『臆病にならない薬』?」

ゆうたん「なんかリュカラシイ・・・?」

みせメロン 「・・まあいい！マスターでは・・」

マスター「ぶつぶつ・・・」呪文的なものを唱えてる・・・

マスター「はあああーーー！」

とそこに薬が入った小瓶が出てきた。

みさメロン 「次はラッピング魔法——！」

ヒキレイにラッピングされたものが・・・

ゆうたん「最後に3人サンタからの手紙だよ——！—！」

と思いをそのまま表した手紙が出来た。

みさメロン 「よしー!リュカへのプレゼント終わりーー!」

ゆうたん「次、行こ——うう——！」

みさメロン 「次はネスの家に！」

ゆうたん「来てまーーす！！」

マスター「（私が一番疲れる・・・）」

「なんか思つてる? マスター? ?」

マスター、いや、何も……（なぜわかる！？）

ゆうたん「ネスはバットとヨーヨーだつて」

みせメロン 「新しいのにしたいのかな？」

3つの事をし、ラッピングされたバットとローーー。手紙を付け加

えて

あれメロン & オウム「終わり————。」

みせメロン 「ああ……書くのめんどくさい……」

ゆうたん「とにかく訳なそつなので……」

みせメロン 「申し訳ないが省きます……」

ゆうたん「次回にそれぞれ、誰が何を頼んだか」

みせメロン 「説明して逝けりと思こます……」

ゆうたん「逝けりと思こます……」

みせメロン 「あらあ？ウチもゆうたんも天国に逝けりやけりね……！」

みせメロン &ゆうたん「ハハハハハハ……」

マスター「バカか……」

みせメロン &ゆうたん「うわせ……だまつヒナ……」

マスター「……」

特別編 プレゼントを渡して part1 (後書き)

今回は少し長かったです！

こんなのも感想、評価などしてくれたら
嬉しいです！！！！

それでは次の話まで・・・！
頑張つて更新します！！

**特別編 プレゼントを渡して
part2 (前書き)**

特別編の2話目で～す

特別編 プレゼントを渡して part2

みさメロン 「前回の話を続きで～す。…。ところでどうぞお

一軒一軒

おわるのめんどくさいので省略します…。」

ゆうたん「でも、誰が何を頼んだかは発表していくりますよー。」

みさメロン 「しかしーしー時々どんな様子だったかお伝えして逝こうと思いまーす！」

ゆうたん「だから漢字ー天国に逝りやがりー。？」

みさメロン 「すみません…。」

ゆうたん「まあ、始めていきますかね？」

みさメロン 「Y e s!—」

まず前回の・・・・・

1、リュカ 慢性にならない薬 (リュカ・・それはないやろ・・・)
2、ネス バットヒュー ハー (ネスらしい)

のところで終わりました。

みセメロン 「まわった順は・・・。もう決めるのめざむれこからキャラクター

選択の左端から(マコホ、ルイージ・・・)ヒヤツでござます」

ゆつたん「めざむれがつ屋?」

みセメロン 「やー、かもね・・・」

ヒヤツ事で3件目『マコホ』プレゼントは・・・

『超レアスーパークリノ』

みセメロン 「どんなキノ?・・・?」

ゆつたん「や、それ・・・?」

続いて4件目!『ルイージ』プレゼントは・・・

『影が薄くならない薬』

みやメロン 「……。」
「それ飲んじゃつたらルイージのことをいわ
無ごじやん！」

ゆうたん「確かに……。」
「てか薬シリー^ズ第2弾（笑）」

5件目…『パー^チ』プレゼントは…

『マコホ』

みやメロン 「……（笑）」

ゆうたん「……（笑）」

マスター「……」、「これはどういふと……？」

みさメロン「どうしようか……？」

ゆうたん「もうこいつの」とマコオを「転送すれば……？」

みさメロン「やっぱ、やつしうつ……。マコオのプレゼントも送るんだよ?」

マスター「……わかった」

6件目!『クッパ』プレゼントは……

『ギガクッパ』

みさメロン「……え――と……？」

ゆうたん「スマッシュボールあげれば……? 威力は弱め、時間も短めにして」

みさメロン「うん、そうしよう」

7件目ー『ブランキー』プレゼントは - - -

『バナナ300本』

みれメロン & あつたん「うさ、なんとなくわかつた・・・」

8件目ー『トライティヤーロング』プレゼントは - - -

『バナナ200本』

みれメロン & あつたん「うさ、ブランキーと一緒に組んだよ

9件目…『ミッシー』プレゼントは…

『大量の食べ物』

みさメロン & ゆうたん「もう、だいぶわかつてきた…」

10件目えー！『ワリオ』プレゼントは…

『金』

ゆうたん「えーーと？」「

みさメロン 「図書カードにしよう!」

ゆうたん「なんで？」

みさメロン 「一応金だよー本しか買えないけど・・・わーーワリオ
だし！？」

ゆうたん「それならいいねーーー！」

11件目ー『リンク』プレゼントはーーー

『ゼルダに想いを伝える薬』

みさメロン 「出ましたーー薬シリーズ第3弾ーーー」

ゆうたん「出ましたねーーー！」

12件目ー『ゼルダ』プレゼントはーーー

『リンク』

みさメロン 「ペーチと回じかいつ……」

ゆうたん「なら、リンクの元に転送だね!」

みさメロン 「コンクのプレゼントなど意味無い……。回想
いだし」

ゆうたん「そうだね……」

13件目『ガノンドルフ』プレゼントは

『スマッシュボール×30』

みさメロン 「30個……?」

ゆうたん「かなり威力の低いもの30個でいいんじゃない?」

みさメロン 「やうだね……ってことで、マスター」

マスター「つ、疲れる・・・」

みやメロン　「ハーラン

頑張つて

マスター「…………（これがあと何回続くんだ……？）」

「うん」と次回に續くよ——。」

特別編 プレゼントを渡して part2 (後書き)

感想、評価ください！！！

特別編 プレゼントを渡して part 3（前書き）

アルル「ねえ、クリスマス過ぎたけど・・・？」

みやメロン - 自分的に本編入りたい・・・」

全員・しゃあ入れよ!!!

卷之三

卷之三

金剛のアバタを愛する者へ

アイケーチョウ!

みやメロン バイケン

ア イ ケ あ り に さ う き の は 悪 か た

みやメロン 「じゃあアイクだけ許す！-! &玉籠壇やす！-!
わらに肉も付けてあげるよお～！-！」

アイク「マジック...?」

みやメロン「マジック」

アイク「サンキュー...」

金剛（アイクを除く）「えつ...?」

長くなつましたがどうが...・・・・

特別編 プレゼントを渡した part 3

「では……次はトウーシンクからだね！」

ゆうたん - そうだね! -

14件目-『トウーンコンク』プロゼントは

『勇者になれる薬』

みせメロン 「薬シリーズ第4弾・・・」

ゆつたん「て、書つか。なれてると思ひ……」

みをメロン 「た、確かに・・・」

15件目!『サムス』プレゼントは - - -

『モテる薬』

みせメロン 「今回、おなかの薬シリーーズしか……？」

ゆうたん 「ええ……？」

みせメロン 「まあ、ゆうたん達にモテときなよ……」

ゆうたん 「……（笑）」

みせメロン 「あつ……それか『持てる』と言つ事なので力持ちになれる薬にしたら……。」

ゆうたん 「や、それは……」

16件目：『アッシュ』プレゼントは……

『人間に戻れる薬』

みさメロン 「ねえ・・ゆうたん?」

ゆうたん「・・・何?」

あれ又曰く「愚んと云はれかむな」

タニタニ - タニタニ・・・

「マスター、なあ、人間に戻れる薬はくるのかあ？」

おお——
いがんた
おお——
いがんた

二ノ木

みさメロン「一日だけなれるような薬作」といて！ウチ等次の人のプレゼント見て

「三、にあたおうし」「んか！」

マスター「・・・」

17件目！『アイスクライマー』プレゼントは - - -

『ハンマー×2』

あれメロノ」「ニヤ。。。ウハ」む所無かつた。。。」

ゆうたん「確かに・・・」

みぞメロン「ネズミと同じ。。。?新しいのにしたかうたのかな?」

「お、たん、そ、かも、

18件目一『ロボットプレゼントは?』

「ヘイワ」

あれ×ロハ
＆キハだな「ミリカスル」

と結構悩まされた二人・・・

マスター「いや！一人じゃ無い！！！！！」

みせメロン 「あれー？誰かいる？」

ゆうたん 「いや、いないと思つ・・・（笑）」

マスター 「だから笑うなあ――――――」

19件目…『カービィ』プレゼントは…

みせメロン &ゆうたん 「ビーーせ食べ物だろ・・・」

『カレー×50、シチュー×20、マキシムトマト×100、メロンパン×100、牛丼×50、オムライス×20、アイスクリーム×1000、バナナ×50、グラタン×30、・・・・・（たくさんの中食べ物）』

みせメロン &ゆうたん 「・・・・・」

みわメロン & わいたん「詳しく述べて」

みさメロン 「しかも1つの食べ物に20~1000個・・・」

みさメロン & ゆうたん「まあ、ガンバ！！！」

マヌダニ - ハグレウス : . . . (泣)

20件目——!』メタナイト』プレゼンテーション

『新しい仮面』

みせメロン 「普通・・・?」

みせメロン 「つひりが所無い・・・・・」

21件目ー『トトロ』プレゼンは - - -

『ハンマー』

あれメロン &みせメロン「はこ・・・・・」

22件目ー『オコロマー』プレゼンは - - -

みせメロン 「うん、すぐ死んじゃつもんね」

ゆうたん 「やうだね」

続く・・・!?

特別編 プレゼントを渡して part3 (後書き)

すみません！！

最後、ぐだぐだです・・・。時間が無かつたもんで・・・

こんななんでも感想、評価してくれたら嬉しいです！！

何書いてもいいんで！！！お願いします！

前書きの続き？

マリオ「作者を殺ろ！」

アイク「OK・・・」

マリオ「行け――――――！」

アイク「最後のきりふだ・・

大天空――！」

全員（アイクを除く）「えつつつ――――？」

マルス「なんでアイクが・・・・・？」

みさメロン「教えてあげる。

肉だよ！――――――

全員（アイクを除く）「はあああああ————?」

次回の前書きに続く！？

特別編 プレゼントを渡して part4 (前書き)

全員（アイクを除く）「行くぞ――――――」

みさメロン 「また来た・・・」

アイク「まだか？作者・・・」

みさメロン 「もう少しだと・・・」

マリオ「再挑戦だ！！」

みさメロン 「バカだ・・・」

? 「作者、アイク遅れてすみません」

みさメロン 「来た！――」

アイク「セネリオ！――」

? 「作者、はい！『細身の剣』――」

みさメロン 「ありがとう、ワゴ！――」

アイク「よし――では行くか！――？」

グレイル傭兵団＆みさメロン 「行くぞ――――――――――――」

全員（アイクを除く）「はい――――――――――――――――――？」

本文の最後に続くーー！

特別編 プレゼントを渡して part 4

みやメロン 「今回で終わるよー。」

おひたるでせ、わたくしも、うへーーー。」

23件目！『フォックス』プレゼントは - - -

『ランドマスターの強化』

みさメロン & ゆうたん「あれ以上強化になるとヤバイってーーー！」

24件目！『ファルコ』プレゼントは

『ブラスターの強化』

ゆうたん「なんでこれ!?」

みさメロン 「あ～わかった！ そうめんを強化したかつたんだ！！
うんうん・・」

ゆうたん「!?

25件目ー『ウルフ』プレゼントは - - -

『ランスマスター改（赤いやつ）の強化』

みせメロン & ゆうたん「フォックスと同じーー?」

26件目！『キヤプテン・ファルコン』プレゼントは - - -

『足が速くなる薬』

みさメロン 「ソニックが出て2位になつたから?」

ゆうたん「そうかもね」

27件目！『ピカチュウ』プレゼントは - - -

電氣

みやメロン 「どうしようか・・・」

ゆうたん「まあ、マスターに任せよーー！」

マスター「はあ―――!?

「うん、それじゃ、今、あれメロン

みせメロン 待てと言われて待て奴はしねー————!!

ゆ二たん 確かに・・(笑)

「アスダル、第二など何度！」無ぜぬ笑だ！！！」「

八百四十一

「ノーマニ」強制終了の日

卷之三

マスター（泣）

28件目！『ポケモントレーナー』プレゼントは - - -

『マスター・ボール×30』

みせメロン 「えーーと、これでステージに出てくるポケモンゲッ
トするやつ?」

ゆうたん「やう、かも・・・」

みせメロン 「ウチ、バグ(つづこ)か裏技(うらぎ)とか・・・)でマス
ター・ボール

作りまくつたけど・・・」

ゆうたん「・・・」

29件目ー『ルカリオ』プレゼントは・・・

『出番が増える薬』

みせメロン 「いあん・・・、あんまりルカリオ使わんし・・・」

ゆうたん「これはみせメロン が決める」とだね」

みさメロン 「わうだね」

30件目えーー！『プリン』プレゼントは - - -

『マイク』

みさメロン 「大きい声で歌つてるの」「マイクなんか使って歌う
と・・・」

ゆうたん「重症だね・・・」

みさメロン 「確実に・・・、やられぬね・・・」

31件目ー『マルス』プレゼントは - - -

『アイクより人気が出る薬』

みさメロン 「残念だね！ウチはアイク派だ――――――友達に聞いても

15対2ぐらいでアイクの勝ちなのを――――そ

んな薬飲んでも

意味は無――――――

ゆうたん「す、す」――・・・・・

32件田一『アイク』プレゼントは・・・・

みさメロン 「ウチにはアイクの頼んでくるものがわかる――・・・

ゆうたん「（それがあんなの聞いから）よつぱんじ血信があるんだ・・・

・

みさメロン 「もつぢひっか――・・・・・

ゆうたん「（僕にもわかるけど・・・・・）何（？）

みさメロン 「肉うううううう――・・・・・・・・

みさメロン 「しか無――・・・

ゆうたん「（さつま）さ（つま）だね・・・・・

！」――・

『肉×100（高級の）』

ゆうたん「何！？最後の（）の中の『高級の』って……」

みせメロン「マスター……高級なのを用意……！」

マスター「はいはい……」

みせメロン「何！？！？！？文句でも……！？」

マスター「いえ……」

ゆうたん「恐るべし……」

33件目ー『ミー・ゲーム&ウォッチ』プレゼントは……

『ハイフ』

みやメロン サウザン「ロボットと一緒にかよー?」

34件目！『スネーク』プレゼントは - - -

『女が欲しい』

「ショゾか――――――?」

支那の「人・事・物・事」

おやメロハ 「おや」……

シェゾ「ヘンタイって言'うな……。」

卷之三

『ノーラン・パーソンズ』

『溺れない薬（泳げるようになれる薬）』

みさメロン 「ンニシクつて泳げないんだつけ……？」

ゆうたん「た、確か……」

みさメロン 「最後の最後に薬シリーズ……」

ゆうたん「薬シリーズ第10弾……」

マスター「つ、疲れた……死ぬ……」

みさメロン 「あつそ……」

マスター「(泣)」

ゆうたん「みさメロン お疲れー！」

みさメロン 「お疲れー！ゆうたんー！」

ゆうたん「それでは……」

みさメロン &ゆうたん「かんぱーいーーー。」

ジュースで～す

みさメロン 「おこし～こーーー！」

ゆうたん「うん！！」

みさメロン 「と言つ事で・・・」

ゆうたん「特別編は今回で終了です！！」

みさメロン 「ありがとうございましたーーーーーーーー！」

前書きの続き

グレイル傭兵団メンバー

(団長) アイク (副長) ティアマト (アイクの妹) ミスト
セネリオ、オスカー、ボーレ、ヨフア、シノン、ガトリー、キルロ
イ、ワゴ

(オスカーとボーレとヨフアは兄弟)

アイク「マルス、行くぞーーーー！」

マルス「ーーーー！」

アイク「はあーーーー！」

マルス「よつ！・・・・人數的にこちらが有利・・・・」

アイク「？」

マルス「ロイ、リンク、ピット……」

アイク「……？」

キン——!!

アイク「4人相手か……」

リンク「隙やり……」

?「そつはさせないよ……」

アイク「ワユ……」

ワユ「流星……」

4人「……？」

ワユ「はあ……」

4人「わつ……」

ワユ「よ——つし——絶好調の剣の冴え。我ながら惚れ惚れしちゃう
ねえ！」

アイク「ワユ、助かつた」

ワゴ「ゼーんぜん！大将にはまだだよ！」

人数はスマブラメンバーのほうが多いのにグレイル傭兵团が勝ちました！！

特別編 プレゼントを渡して part4（後書き）

見てくれてありがとうございます！！！
こんななんでも感想、評価くださーい！！

グレイル傭兵団、こんな感じで初登場・・・。

これからも出していけたらな・・・。

アイク「俺とワコとセネリオしかしゃべってないが・・・？」

まあー気にすんなー！

グレイル傭兵団（しゃべってない人）「気にするわあーーー！」

久しぶりの本編！（前書き）

やーーーと本編です！！

特別編長かつた・・・。

今日2話更新出来た！！って言つのは特別編書く気なかつたから
先に書いてたんだよね・・・本編の方。

無駄話はさて置き・・・どうぞ！！

久しぶりの本編！

現在10:00

マスター「では、夕食まで自由時間だ。昼は1-2時に食堂へ集合だ。
では、解散！」

子供達「わあ—————！」

作者「やつぱり子供ー！」

と鬼ごっこして遊ぶ子供達

作者「はやつー！」

? 「ねえ、私達はお茶でも・・・」

? 「いいわね」

? 「私もいいかしら？」

とゼルダ、ピーチ、サムスは3人でお茶をするらしい。

アルル「ぼくは、ここを回ってみよう」

と来た事の無いアルルは命宿所の近くを見て回るらしい。

? 「マルス～。剣の稽古しようぜ～！」

マルス「（アルル・・・、どこかに行くみたいだしついで行こう）
ストーカー（笑）ですね・・・」

「艸、（フ、ハツ

マルス「失礼だな・・・！！」

? 「おーい、マ・ル・ス!!」

マルス「あつ・・、なんだいロイ？」

ロイ「だから、剣の稽古しようぜ?」

マルスーああーー、うん

パスするよ（＊・＜＊）

口イ「・・・」

マルス「アイクともやつとカーじゃあーーー」

「つて、どこ行くんだ――――――？」

ロイの言葉を無視しおつてマルス・・・。

「まつ、いつか……。……アイク～？ 稽古しようぜー。」

アイク「ああ・・・」

? 「待つて！ 僕も混ぜて！」

?
俺も入れてくれ！」

トイ「ラジコンカー……つてか私觸りやーーじ
やんー。」

「カニカマ」

アイク「まかせた」

リンク一では、移動しましょうか

合宿所のまわりを見て回るアルル

アルル「へ～、キレイな海があるんだ・・・」

? 「それはスマブラ海。マスターが作ったものだよ
ネーミングセンス無い！！

アルル「わっ！？だ、誰！？」

? 「あつ、『めん。僕はマルス。よろしくね』

アルル「・・・（ビッククリした・・。美形さん・・）」

アルルはこんな事思わない

マルス「だから失礼だつて！！」

か・・・

マルス「ねえ君の世界はどんなところ？」

アルル「・・・」

マルス「あれ？聞いたらだめだった？」

アルル「あつ、いえ・・・」

マルス「・・・？」

アルル「楽しい」ところだよ

マルス「ねえ、向こうにほどんな人がいるの？」

アルル「そうだね。ぼくを勝手にファインセとか言う人とか・・・
ぼくの魔力を欲しがってる人とか・・・、勝手にライバル
にする人とか・・・」

「ふよふよ知ってる人はお分かりでしょう・・・？」

マルス「えつ！？ふい、ファインセ！？」

アルル「まあ、しつこく言う訳・・・」

マルス「それは大変だね」

アルル「マルスさん、どうしてここに？」

マルス「あっ・・・。えっと・・・」

アルル「・・・ごめん。何でも・・・」

マルス「あ、あのさ？」

アルル「はい？」

マルス「呼び捨てとタメ口で」

アルル「は、はい・・・」

マルス「・・・（いやとなると何を話せば・・・）」

アルル「では、マルス。ぼくはこれでー！」

マルス「えつ？どこに行くの？」

アルル「初めての場所だからグルッと見て回るうかと・・・」

マルス「それなら僕も一緒に行くよ」

アルル「いいですよ！そんな・・・」

マルス「なんかあつたらいけないしね」

アルル「そ、そう・・・？（大丈夫だけど・・・）」

散歩中（？）・・・・・

二人の会話に花が咲いた・・・

アルル「楽しかったよ、マルス！ありがとうーー！」

マルス「こちらこそー！」

と、マルスに何もされず無事帰つてこれたアルル。

マルス「だから、何もしないって……」

いやあ～、あんたの事だからなんかしそうで……

マルス「失礼なあ……！」

? 「アルルさん！！一緒に鬼ごっこしよう～！」

と話しかけて来たのはポポだつた。

アルル「ふえ！？え、えーーとつ・・・」

突然声をかけられたもんだから驚くアルル。

? 「あつ・・・。自己紹介遅れたね。ぼくはポポだよ」

アルル「あ、うん・・・。よろしくね、ポポさん」

ポポ「『さん』は要らないよ?ぼくもさん付けしなくていいかな?」

アルル「うん」

? 「ポポまだあ～？」

ポポ「あつ、ナナ！」

ナナ「ポポ遅いよ」

ポポ「ごめん・・・って今話しかけたところだし・・・」

ナナ「わたしはナナ！ねえ一緒に遊ばない？」

ポポ「無視！？」

アルル「ぼくはアルル。ぼくでなければならないけど・・・？」

ナナ「ヤツターハー！みんないいってよーー！」

子供達「イエーイー！」

アルル「！？」

?「僕はネス！よろしくーー！」

?「ボクはリュカだよ」

?「僕はトゥーンリンク！」

?「ぼくはピカチュウの弟、ピチューですうーー！」

?「僕はポケモントレーナー」と、レッドだよ

子供の保護的な存在。

?「わたしはプリンでしゅ。歌うことが好きでしゅ、うううううー曲・・

•
L

プリン「仕方が無いでしゅ・・・」

アルル「えっと・・・。ぼくはアルル。よろしく。呼び捨てでOKだよ」

子供達「よひへへ～～～～！」

マルス「ちょっと、みんなー！」

子供達（アルルを除く）「ああー！マルス居たんだー！」

マルス「わつ、ひどい！…！」

とマルスは走り出した。

ネス「あつ！逃げた！！」

リュカ「放つておこう」

「まあ遊ぼう！」

子供達「うん！」

とお皿までたっぷり遊びました。

久しぶりの本編！（後書き）

なーんか今回普通・・・。

感想、評価・・・、

お気に入りに入れてくれたら嬉しいです！！！
待ってまーす！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4907z/>

合宿です！！全員集合！！

2011年12月28日23時55分発行